

2018年度事業実績について

1 概要

2018年度の後援会は、会員数5,014名、会費収入20,794,000円となり、大分フットボールクラブ（以下大分FC）へ14,763,740円の財政支援を行いました。J2復帰2年目、さらには最終節までJ1昇格を争っていたこともあり、発足以来3度目となる会員数5,000人突破となった一方で、当初目標としていた17,150,000円の財政支援に対して未達に終わりました。会員数は前年度より123名減少したものの、前年度より80口多い会費収入を獲得できており、安定して会員数・会費収入を確保することができています。

2 後援会支部活動について

新規支部の発足はありませんでしたが、観戦会という新たな活動を開始し、これまでとは違う形でトリニータ応援の気運を創ることが出来ました。

観戦会開催実績

5月26日	佐伯支部（ヴァンフォーレ甲府戦）	93名
8月18日	津久見支部（東京ヴェルディ戦）	約250名
10月14日	佐伯支部（FC町田ゼルビア戦）	114名
10月21日	ゆふいん支部（ジェフユナイテッド千葉戦）	30名
10月28日	臼杵支部（松本山雅FC戦）	約30名

3 選手会とタイアップした主な実施イベント

1月22日	佐伯支部イベント	伊佐選手、高木選手
2月12日	監督・選手激励会	片野坂監督、全選手
8月20日	中津市役所支部	姫野選手、兼田選手
8月25日	後援会DAY	清本選手、宮阪選手、川西選手、ウイリアン選手
12月9日	豊和銀行支部	星選手、國分選手

4 その他の主な後援会PR活動、イベント

ダイハツ九州他スポンサー企業イベント、商業施設でのイベント等、多くのイベント会場で、後援会のPR活動を行ってきました。

1月10日	2018新加入選手発表会 for Seasonpass Holders
2月17日	大分トリニータ シーズン開幕直前イベント（パークプレイス大分）
4月22日	大分市中央通り歩行者天国
9月1日	ダイハツ九州祭り

5 各支部による観戦バスツアー (助成金分以外も含む)

3月 4日	佐伯支部	7月 21日	佐伯支部
3月 17日	佐伯支部	8月 5日	玖珠九重支部
4月 15日	佐伯支部	8月 11日	佐伯支部
4月 28日	佐伯支部	9月 22日	佐伯・津久見支部
5月 13日	佐伯支部	10月 7日	佐伯支部
6月 3日	佐伯支部	10月 28日	新別府病院支部
6月 23日	佐伯支部	11月 10日	佐伯支部
7月 7日	新別府病院支部		

後援会DAY (8月25日)

2011支部、新別府病院支部、佐伯支部

6 後援会入会推進活動

- ・2018年監督・選手激励会やホームゲームでの「後援会DAY」の開催
- ・スタジアムでの入会促進チラシの配布ならびにブースでの入会事務
- ・新規・増口キャンペーンによる入会・増口の促進
- ・観戦会等イベント参加増加によるトリニータファン拡大施策の実施

(総括)

事務局の運営体制の変更に伴い、2018シーズンはホームゲーム開催時の受付ブースの変更(西・東各1か所から北1か所のみに)など、会員の皆様にご迷惑をおかけすることがあったものの、シーズンパスとの同時入会やWEB決済など、新しい形での入会方法を設けたことで、昨年と同規模の会員数・入会口数を維持することができた。また、ワンタッチパスと連動したマッチデーポストカードの配布など、既存の会員が来場するだけでプラスアルファの特典が付与されるよう、各会員の来場を促す施策を新たに取り入れた。

今後は、新たな会員獲得のため、大分FCとの連携を強化し、後援会により入会しやすい体制を構築することで個人の会員数を増やすことを重点とし、また、支部会員の積極的な活動促進も後援会からの財政支援額を安定させるために不可欠である。引き続き、各支部、各会員におかれましては、大分FC支援の輪を広げる活動の積極的な展開をお願いすると共に、大分FCのJ1での安定したクラブ経営を後押しするためにも、今まで以上に財政支援金の拡大が必要不可欠であり、会員数を増やすための新しい試みにもチャンレンジしなければならない。